

農 研 速 報

平成25年5月13日発行

茨城県農業総合センター農業研究所
〒311－4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029－239－7212 FAX 029－239－7306

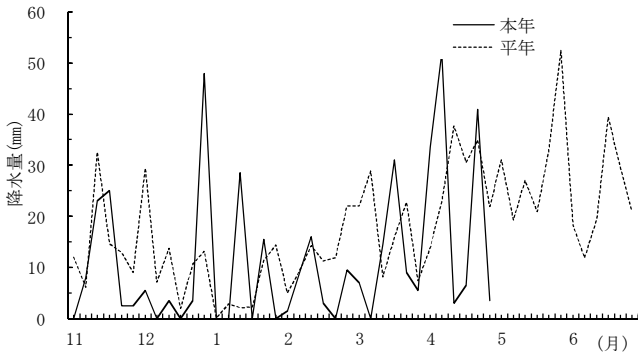
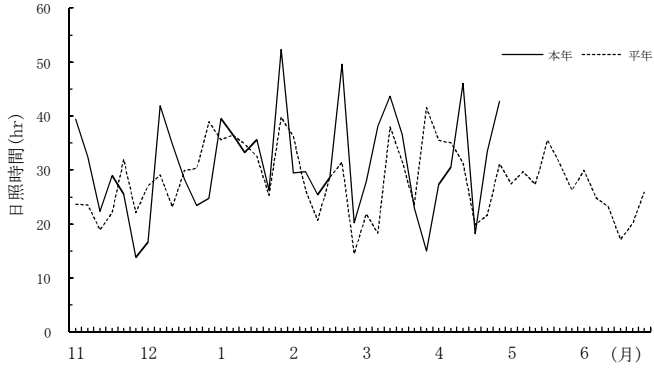
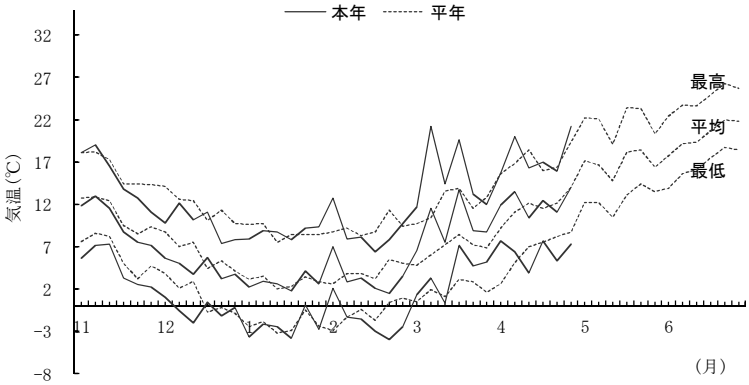
水戸市における麦の生育状況(5月7日現在)

| 地域名 | 麦種(品種) | 生育ステージ | 対平年遅速 | 生育(作柄・品質)概況等 | 備 考 |
|-----|----------|--------|-------|---|---|
| 水 戸 | 11月7日播種 | | | 気象概況:4月第1半旬～4月第6半旬 平均気温は平年より0.6℃高かった。降水量は平年比86%とやや少なく、日照時間は平年並となった。4月12、13、22、23日は最低気温が3℃以下となり、4月22、23日には降霜が見られた。 | ①出穂時に3℃以下の低温、開花翌日以降は4℃以下の低温により冷害が発生する。ただし、地表面からの穂の高さによって温度が異なるため、測定した気温とは異なる。一方出穂前後に直接降霜に遭遇すると子房や葯が萎凋し不稔のまま白穂化する。 ②赤かび病を適期に防除する。防除適期は、下記のとおり。 小麦:開花始期～開花期(出穂期7～10日後頃) 六条大麦:出穂～穂揃期に開花を確認した時(出穂期3日後頃) 二条大麦:穂から葯が出ているのを確認した時(穂揃期の10日後頃) 不稔の穂は赤かび病の発生を助長するので防除に努める。出穂期以降に降雨が続き、平均気温が18～20℃以上になると本病の発生が多くなる。発病の好適条件が続く場合は、1回目の薬剤散布7～10日後に2回目の散布を行う。2回目の散布を実施する際は、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。 |
| | 小麦 | | | 生育状況(表1) (11月7日播種) | |
| | (農林61号) | 開花期 | 並 | ●農林61号:出穂期は前年より3日早く、平年並で、穂揃日数は平年並だった。 | |
| | (さとのそら) | 開花期 | やや早い | ●さとのそら:出穂期は前年より4日早く、平年より3日早く、穂揃日数はやや短かった。 | |
| | | | | ●カシマムギ:出穂期は前年より4日早く、平年より2日遅く、穂揃日数は平年並だった。 | |
| | | | | ●カシマゴール:出穂期は前年より5日早く、平年より3日早く、穂揃日数は平年よりやや長かった。 | |
| | 六条大麦 | | | (11月20日播種) | |
| | (カシマムギ) | 乳熟期 | やや遅 | ●農林61号:前年より2日遅く、平年より3日遅く、穂揃日数はやや長かった。 | |
| | (カシマゴール) | 乳熟期 | やや早い | ●さとのそら:前年より2日早く、平年並で、穂揃日数はやや長かった。 | |
| | | | | 六条大麦の不稔率は出穂前から出穂期にかけての低温に若干影響をうけ、平年よりやや多くなった。小麦では、11月7日播種のさとのそらは出穂始、農林61号は出穂直前に低温に遭遇したため、小麦で穂の一部が不稔となった穂が散見され、11月20日播種のさとのそらは出穂直前に低温に遭遇し穂の上部が不稔となった穂が散見された。所内の小麦「さとのそら」の低温による穂の上部不稔は11月25日播種でやや多く、11月15日、12月5日播種で散見された。 | |
| | 11月20日播種 | | | 農林61号の発育予測モデル、さとのそら発育予測モデルによる成熟期の予測日は、出穂期以降平年並の気温で推移した場合、11月7日の農林61号、さとのそら共に6月16日、11月20日播種の農林61号で6月20日、さとのそらで6月17日である。 | |
| | 小麦 | | | | |
| | (農林61号) | 穂揃期 | やや遅 | | |
| | (さとのそら) | 穂揃期 | 並 | | |

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

| 播種期 (月.日) | 麦種 | 品種名 | 出穂期 | | | 穂揃日数 | | | 一穂粒数 | | | | | |
|--------------|------|--------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------------|------------|-------------|------------|-------------|------------|
| | | | 本 年 | | | 前 年 | | | 本 年 | | 前 年 | | 平 年 | |
| | | | (月.日) | (日) | (日) | (月.日) | (日) | (日) | 稔実 粒数(粒) | 不稔率 (%) | 稔実 粒数(粒) | 不稔率 (%) | 稔実 粒数(粒) | 不稔率 (%) |
| 11.7 | 小麦 | 農林61号 | 4.28 | -3 | +1 | 5 | 4 | 5.4 | — | — | 26 | 31.0 | 30 | 34.2 |
| | | さとのそら | 4.24 | -4 | -3 | 4 | 4 | 5.0 | — | — | 20 | 36.7 | 23 | 37.0 |
| | 六条大麦 | カシマムギ | 4.18 | -4 | +2 | 5 | 5 | 5.6 | 45 | 19.8 | 42 | 21.9 | 47 | 18.6 |
| | | カシマゴール | 4.15 | -5 | -3 | 6 | 4 | 4.5 | 41 | 18.4 | 35 | 21.8 | 40 | 15.2 |
| 11.20 | 小麦 | 農林61号 | 5.5 | +2 | +3 | 5 | 2 | 3.3 | — | — | 27 | 31.8 | 31 | 35.1 |
| | | さとのそら | 4.29 | -2 | 0 | 5 | 3 | 3.5 | — | — | 22 | 37.0 | 23 | 36.2 |

耕種概要 1)圃場来歴:表層腐植質黒ボク土畑(前作休耕) 2)播種量:0.8kg/a
3)施肥量:N-P₂O₅-K₂O=0.6-0.6-0.6kg/a 4)播種様式:畦幅30cm、ドリル播き
5)平年値:平成19～23年播種の結果の平均。ただし、さとのそら適期播種は平成21～23年播種の平均。さとのそら晩播、カシマゴールは平成22、23年播種の平均。
6)麦踏み:12月18日(11月7日播種のみ)、2月5日 7)穂揃日数:出穂始から穂揃期までの日数。出穂始の翌日から起算。



平成24～25年度半旬別気象経過図
(水戸地方気象台データを参考に作成、平年値は過去5年間のもの)



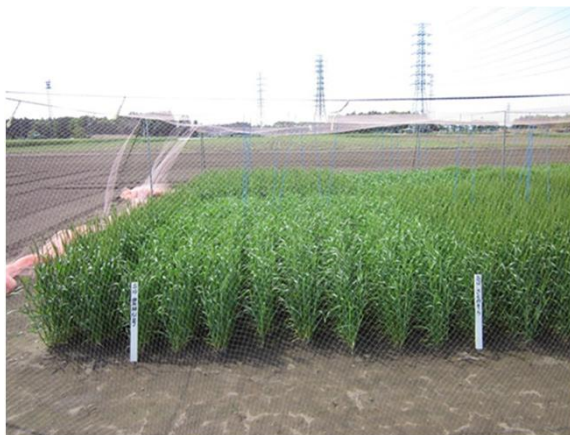
農林61号 11月7日播種



さとのそら 11月7日播種



11月7日播種の小麦にみられる不稔



農林61号 11月20日播種



さとのそら 11月20日播種



11月20日播種の「さとのそら」にみられる不稔



カシムムギ 11月7日播種



カシマゴール 11月7日播種



11月7日播種の大麦にみられる不稔